

2009年6月30日

## 出張報告書

京都FD開発推進センター

深野 政之

日程：2009年6月27日（土）～28日（日）

行事名：比較教育学会第45回大会

出張先：東京学芸大学（東京・小金井市）

参加者：深野、川面

### 1. 課題研究「留学生政策の比較分析」

日本の「留学生30万人計画」を軸として4本の事例報告があった。

「留学生10万人」政策をやっと実現した日本で、あと20万人の留学生を増やすことが現実に行えるのか。そのためにこれから大学に何が求められてくるのかが論点の中心となった。

まず、九州大学・白土悟氏から日本の政策動向についてレビューが行われ、その後で、大学評価・学位授与機構の吉川裕美子氏からドイツの留学生政策の動向、東京学芸大学の見世千賀子氏からオーストラリアの動向が報告された。

オーストラリアはアジア各国からの留学生受け入れを官学一体となって積極的に進め、大きな外貨獲得の手段となっているとのことであった。

次に上智大学・杉村美紀氏によりマレーシアを中心にアジア各国・地域の留学生政策が報告された。アジア各国・地域からは留学生の送り出しが主体となっているが、高等教育需要が急速に高まっているマレーシアでは、オフショア・プログラム等により自国内で海外の高等教育機関の学位を取得したり、留学期間を短縮したりする制度が広まっているとのことであった。

質疑、討論では、日本の「留学生30万人計画」が、日本語学校の修学生等を全て留学生として扱うよう制度を変えるとか、1か月以上の滞在でも留学生として扱うというような、統計上の操作もあることが指摘された。

### 2. 自由研究発表

自由研究発表は、1日目午前と2日目午前にそれぞれ行われ、FD連携事業による視察予定（候補）となるヨーロッパ、オーストラリア、マレーシアの高等教育事情に関する発表を中心に聴講した。

この他、多くの大会参加者と研究交流や情報交換を行なうことができ、またFD活動に関する情報収集もできたことも合わせ、非常に有意義な出張であった。

以上